

三陸沿岸道路（山田宮古道路）
”小学生による見学会”
宮古市立高浜小学校の全校生徒が宮古地区
道路改良工事を見学します！

震災復興のリーディングプロジェクトとして事業を進めている三陸沿岸道路「山田宮古道路」（岩手県下閉伊郡山田町山田～宮古市金浜 延長14km）は、平成29年度の開通を目指して事業を進めているところです。

このたび、宮古市立高浜小学校の全校生徒による工事現場見学会を下記の日程にて開催することになりましたので、お知らせいたします。

1. 日 時：平成28年11月 1日（火） 10：50～11：50
2. 見学場所：三陸沿岸道路（山田宮古道路）宮古地区道路改良工事 延長840m
宮古市金浜地内 …別紙-1を参照
3. 見学会概要：1. 工事概要説明
2. 工事現場見学（高学年は、重機見学及び乗車）
（低学年は、函渠工底版に寄書き）
3. 記念撮影
4. その他：現場入場する際に必要となるヘルメットは、こちらで用意いたします。
当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。

《発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ》

問 い 合 わ せ 先

【見学会に関すること】

国道45号 宮古地区道路改良工事

(株) 鴻池組

たにむら やすひろ
谷村 泰裕

電話 0193-65-7830 (代表)

【事業に関すること】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話 0193-62-1711 (代表)

副 所 長

ひらおか ひろし
平岡 弘志

建設 監督官

みかみ やすみつ
三上 泰光

宮古地区道路改良工事現場見学会案内図

位置図



詳細図



- ・開催日時：11月 1日(火)
10:50～11:50
- ・見学場所：三陸沿岸道路（山田宮古道路）
宮古地区道路改良工事

※工事入口へは、国道45号から自道車専用道路を經由し入場願います。

三陸沿岸道路 山田宮古道路の概要

三陸沿岸道路 山田宮古道路 延長 14 km

路線概要

三陸沿岸道路「山田宮古道路(山田～宮古南)」は、山田町山田から宮古市金浜を結ぶ約14kmの自動車専用道路です。現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により主要港湾(釜石港)へのアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

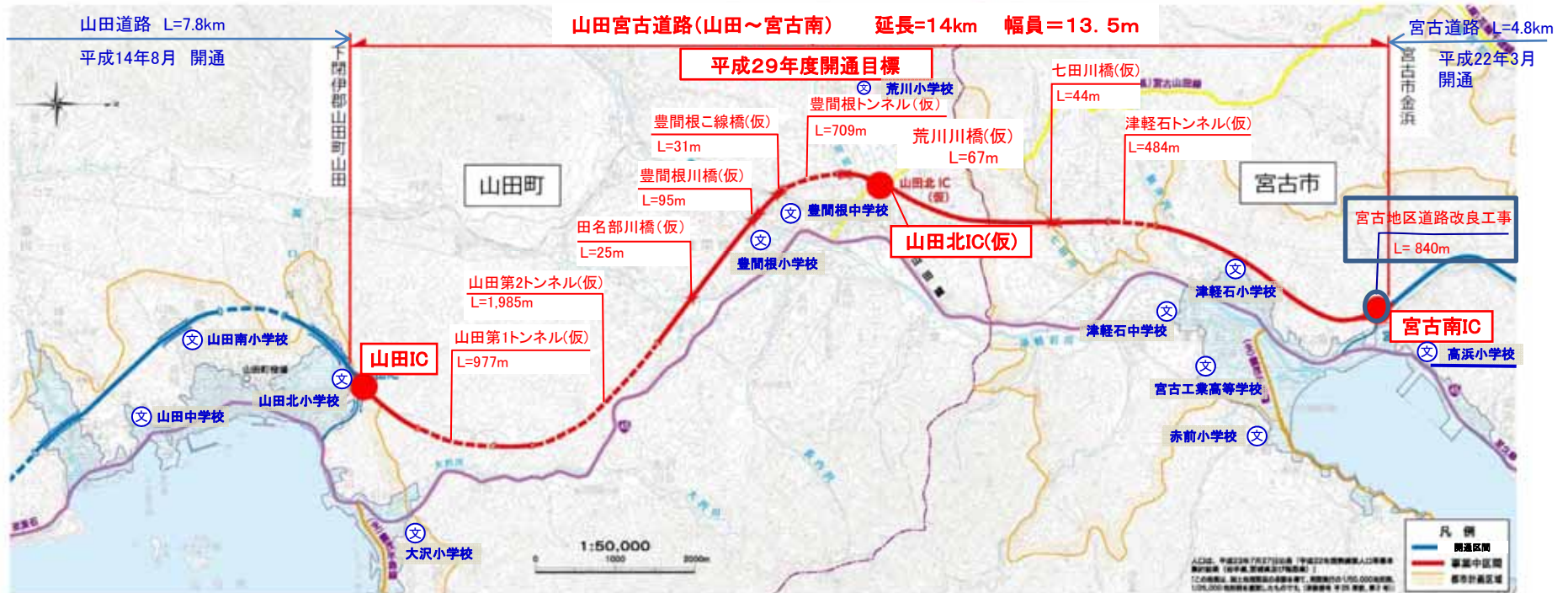
平成28年度は、用地買収を完了し、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施中で、平成29年度の開通を目指します。

計画諸元

山田宮古道路 (山田～宮古南)	
起 点	下閉伊郡山田町山田
終 点	宮古市金浜
延 長	14km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



宮古南IC付近から山田宮古道路を望む



メリット① 津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 山田宮古道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼山田町～宮古市間経路



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市津軽石地区



写真② 山田町大沢地区



メリット② 迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 山田宮古道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼ 現道の隘路状況

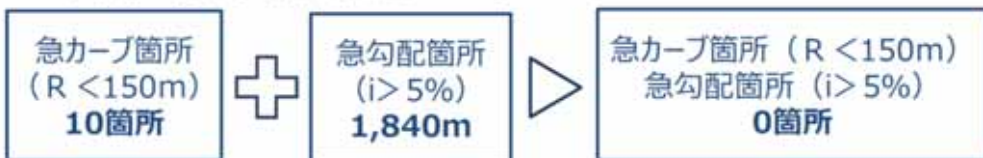


線形不良箇所
(ブナ峠)

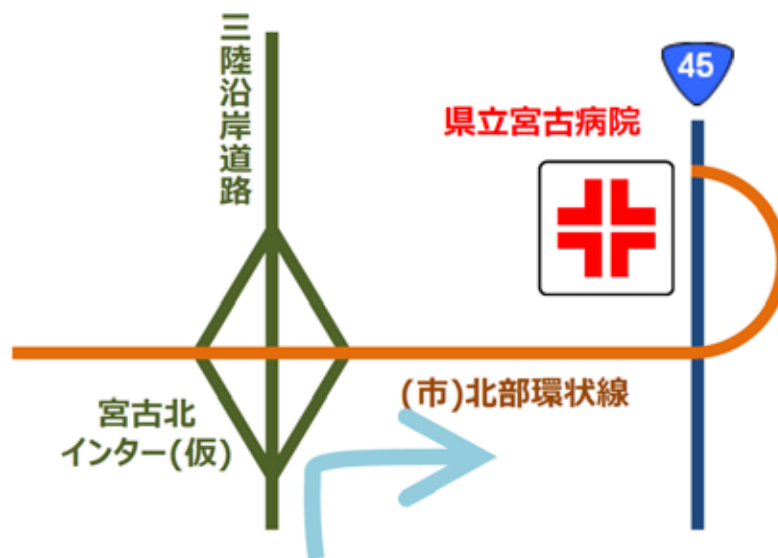


山田～宮古区間の国道45号

山田宮古道路



▼ 宮古病院へのアクセスルート



山田町から県立宮古病院への搬送時間
現在 約40分 ⇒ 将来 約20分

メリット③ 新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 201万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 162万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 125万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数200万人/年)



中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



船越半島大釜崎(山田町)



基石海岸(大船渡市)



三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



北山崎(田野畑村)



龍泉洞(岩泉町)



メリット④フェリー就航で北海道と東北等の物流・人流が活性化

復興道路・復興支援道路の整備がフェリー航路開設につながる

- ◎宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。
- ◎宮古港、三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。

【航路概要】(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

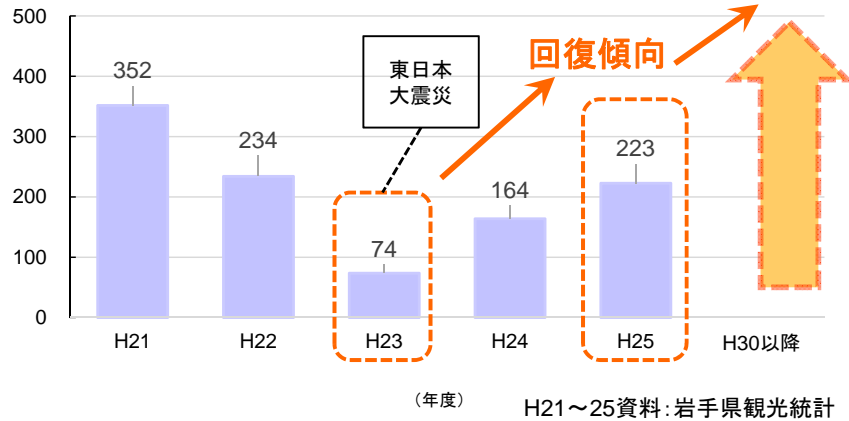
- 開設時期 平成30年6月(予定)
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由
 - ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
 - ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
 - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
 - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい

フェリー航路図(予定)



観光入込客数の推移と期待

(万人) (※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)



←平成27年11月15日
宮古港でフェリー乗船会が開催され、
カーフェリー『シルバークイーン』が寄港